

企業名： エン・ジャパン

レポート名： en Japan 統合報告書 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

エン・ジャパンは「社会をより良く変えるため、懸命に働くこと」をよしとする考え方をI&Wという短くて簡潔なフレーズにまとめていたので、すぐに理解できたし、覚えることができた。また、この会社は主に転職の斡旋をおこなっているが、ただ転職までをサポートするのが仕事ではなく、転職後社内で活躍するまでサポートすることを理念としており、“engage”など新事業を立ち上げながら、理念を忘れずに発展していくことを目指しているのがよく理解できた。また昨今注目されている社会貢献についての項目であるが、Engage、Social, Governanceと英語表記をし、それをまとめてESGと表すことでこの会社がどこに邁力して社会貢献を図っているのか理解できた。また、それぞれの項目ではデータや実例を画像や表とともに載せていたので見やすかったし、どんなことをしていて何を狙っているのかが具体的に理解できた。全体として、この統合報告書からはこの会社が目指す姿が理解できた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

転職斡旋会社は他にも多くあるが、エン・ジャパン他企業とは違って転職して新たな会社に入社した後もサポートして活躍に導くことに注力している所に競争優位性があるように感じた。さらに、エン・ジャパンでは国内最大級の求職サイト“エン転職”の他、若手ハイキャリアに特化した“AMBI”やミドル世代向けの“ミドルの転職”など様々な属性に合わせた求人サイトを展開していることも競争優位性があると考えられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

顧客が転職して新たな会社に入社した後もサポートして活躍に導くことについては、これは企業としての理念になっており、どの事業もこれを念頭に入れて事業をおこなっていると述べられていたので、企業理念が変わらない限りは持続すると理解できた。また、様々な属性に合わせた求人サイトを展開していることに関しては、少子高齢化やグローバル化が進んで社会構造が変わったとしても、これまでの経験を活かして最適な求人サイトをやるので持続性があると理解できた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

元々この会社は仕事の紹介をする会社である分、リクルート受ける人にフォーカスしており、学生や今後エン・ジャパン自体に入る人への価値向上については不明であった。しかし、報告書では社員全員が同じ理念を共有してそれぞれの仕事をこなしていると書かれたいたので、理念を実現するために一人ひとりが励むだろうと考えた。また、個人的に自分の性別は女であるので、報告書の 31 ページから 33 ページに女性が活躍できるように早いうちから管理職にチャレンジできることや「スマートグロース制度」というフレックス労働制が取り入れられ得ていることが魅力的だった。このように、女性も早くから活躍できることを知ると、自分が結婚、出産、育児などどうしても会社を外さないとはいけなくても、会社で自分を成長させられることができるイメージが掴めた。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

統合報告書の最初の方のページで企業に事業紹介をするか、エン・ジャパンのリンクをつけた方がいいと感じた。エン・ジャパンという社名だけで会社の概要を理解することが難しい人も多いし、初めに会社について理解してもらってから統合報告書を読んだ方がエン・ジャパンの伝えたいことがより伝わると考えたからだ。また、タレントのバカリズムがエン・ジャパンの CM でお馴染みなので、“この CM でお馴染み”などのスライドを入れても、思い出せる人が多く良かったのではないか。

また、学生がこの会社に入ってどのように成長できるかの項目がなかったので、学生に向けた項目も増やすべきだと考えた。特に、エン・ジャパンは転職の斡旋会社であるため就活をしている側の人が、転職を斡旋する仕事に興味や知識を持つのは容易でないと考え。この点からも、統合報告書に学生や就活生へのメッセージを含めるべきだと考えた。